

令和 8 年度 第 1 回 岸和田市観光振興計画推進委員会

1 日時 令和 8 年 6 月 17 日（水）午前 10 時 5 分～午後 0 時

2 場所 岸和田市役所職員会館 2 階大会議室

3 出席者

【学識経験者】石田信博、香月義之

【公共的団体の代表者】阪口寿子、西村令子、鍛冶義和、木村豊秋

【関係団体の代表者】塩見正成、田邊真、吉本昌史、杉田精教

【市民公募】大嶋桂、溝端裕子

【オブザーバー】藤井健一、山口和紘、村中美樹

【欠席者】佐野楓、太田享之

【事務局】船橋魅力創造部長、有留観光課長、坂部担当主幹、芝野担当長、甲地主査、藪内担当員

【傍聴者】 3 名

次第

1 開 会

（1）部長挨拶

2 議 事

（1）令和 7 年度本市の入込数について

（2）令和 8 年度実施事業について

（3）委員会スケジュールについて

（4）その他

3 閉 会

配布資料

○次第

○配席図（資料①）

○観光振興計画推進委員会委員名簿（資料②）

○観光振興計画推進委員会規則（資料③）

○観光客入込数（資料④）

○令和 8 年度実施事業（資料⑤）

○意見聴取シート取りまとめ（資料⑤－1）

○令和 8 年度観光振興計画推進委員会スケジュール（資料⑥）

1 開会

- ・委員長、副委員長の選任

2 議事

(1) 令和7年度本市の入込数について

- ・資料④をもとに、令和7年度本市の入込数について報告。今年度は後期の目標入込数についての見直しを実施する。

●委員（I）

- ・主要イベントとはなにを指すか。

●事務局

- ・だんじり祭・お城まつり・もみじまつりの集計である。

●委員（D）

- ・万博が終了して観光動向も変化している。万博終了後の魅力ある事業の実施や発信が必要であるとする。

(2) 令和8年度実施事業について

●事務局

- ・観光創造ビジョンの概要の説明、資料⑤のシートの目的の説明及び今年度事業について説明。その後、資料⑤－1をもとに事前意見聴取シートに対する回答を事務局より報告。

〈1. プロモーションの強化〉

●委員（E）

- ・万博が終わり、万博の効果をいかに活用するか。AIの活用に注目すべき。情報収集だけでなく予約管理も可能となっている。SNSでの発信も重要だが、AIの進化が早くAIに選ばれるよう岸ぶらでの発信があるとよいとする。大阪観光局では4年前AIチャットGPTを活用した案内事業を先進的に実施したが、日常でのAIの進化により個人で活用する機会が増えたため事業は終了した。AIについて、ともに研究し、事業実施等に取り組めばと思う。

●事務局

- ・AIに選定されるような発信や内容は必要である。情報交換等を行ってまいりたい。

●委員（H）

- ・万博後の観光発信として、岸和田といえばだんじりと岸和田城ということを強く発信することが必要。岸和田城も認知度は上がってきていると思うが、単独ではなく、ほかの城との協力が必要。弊社ではデジタルスタンプラリーで豊臣兄弟関連のデジタルスタンプラリーを実施している。近畿圏+愛知と幅広く実施して、岸和田城も含んで実施している。

●委員（A）

- ・スタンプラリーについては、各施設でポスターの掲示等をしている。大河の影響もあり、注目されている一つである。

●委員（J）

- ・富裕層や外国人といろいろターゲットがあるが、差別化ができていない。パンフレット等からもなかなか読み取れない部分がある。ターゲットに応じた発信が大切である。観光客目線ではマップが重要。基本的な情報のマップはもちろん、学生目線や、留学生目線、地元目線のマップの作成を協力して取り組んではどうか。

●事務局

- ・富裕層向けについては観光振興協会や大阪観光局と協力して実施を考えている。ターゲットに応じた展開は重要である。マップについては過去に関西大学と連携して自治体では調整が難しい地元飲食店を取り上げたマップも作成。そのほか、地元小学生が作成したマップを提供いただき、各施設で配布した。

●委員（C）

- ・今年は、秋に豊かな海づくり大会があるので、それに向けての発信もすべきではないか。なんばでのプロモーションについては、目的をもってきていることが多いから、インパクトのある内容が必要である。関空でのプロモーションも必要と考える。

●事務局

- ・海づくり大会については、コンテンツの一つで関連事業がある。なんばでのプロモーションについては、滞在中の立ち寄りや次回への来訪を促す仕掛けをしたい。

〈2. 観光コンテンツの充実〉

●委員（A）

- ・岸和田城の活用として、特定のエージェント向けに夜間貸し切りプランの提案をしている。その一つとして、この 3 月から大阪港に寄港する海外からの大型クルーズからのツアーを実施。灯籠の設置、地酒・地ビールの提供、地元銘菓の土産や岸城神社の特別参拝を実施し、3 月には 40 名程度が参加。主に英語圏の方にお越しいただき、好評だった。5 月には 90 名近く参加した。広く紹介して今年度も継続実施を予定している。豊臣兄弟について、岸和田のだんじりには豊臣関連の彫り物もあるため、そこに焦点を当てて、8/23 までだんじり会館で各町豊臣にゆかりのあるだんじりについての展示をしている。

●委員（E）

- ・だんじり小屋巡りや展示等、だんじり祭以外の時期に実施することは数日のイベントからの横展開として好例である。また、夜間での事業実施も暑さ対策としてもよい。宿泊の需要が夏場は減っており、理由の一つとして、昨年の万博で日本の夏が暑いと海外の方に感じられているのではないかと考える。かっこいい・涼しいをかけて、“クール大阪”として、地下街への誘客や、涼しいものを食べるといった内容を検討している。これからは夜の観光を打ち出すことも重要であり、オーバーツーリズム対策だけでなく、暑さを避ける夜間へ観光の促しも必要。協力して暑さ対策の事業実施に取り組みたい。

●委員（I）

- ・だんじり小屋巡りはどのエリアで実施しているか。

●事務局

- ・現状、旧市 22 町で実施している。将来的には広く展開したいが、様々な課題がある。事業自体も始まったところもあり、これをベースに内容をブラッシュアップして、事業展開できるようにしたい。

●委員（D）

- ・だんじり小屋巡りについては岸和田ボランティアガイドも協力している。実施結果の評価を行って、その結果を今後の実施計画に反映させて、中身を充実していくことが重要と考える。また、観光振興の観点から、資源そのものの価値の維持管理が重要である。岸和田城を例にとれば、周辺の桜は寿命にきており、現状の名所として維持するには計画的な植樹が必要。また、石垣についても膨れや欠落が見られるので点検・整備が必要。また、犬走りをはじめ城周辺は雑草が伸び放題で、市民としても恥ずかしい状態である。

●事務局

- ・庁内関係課との意見交換も実施しているため、引き続き意見として共有する。

●委員（B）

- ・岸和田城の夜間の貸し切り事業について、城だけでなく、ほかの施設とかも実施しているのか。

●委員（A）

- ・だんじり会館、岸城神社、堀端への案内もしている

●委員（I）

- ・その事業内での飲食についてはどうか。

●委員（A）

- ・現状は地酒・地ビールの提供等のみ。各国の食文化やアレルギー対応等も考慮し、食事を含めた対応についてエージェントと協議している。

●委員（J）

- ・数年前から景色も大きく変わっている。山手にも魅力ある場所があるため、そちらへの誘客もしていただきたい。

●事務局

- ・山手も魅力的な資源が点在しているため、城周辺だけでなく周遊企画を検討したい。

●委員（F）

- ・インバウンドの入込数が各施設の15%を超えてくると、インバウンド対応をより意識する必要がある。プロモーションについては言語の境目を意識せずとも実施できるが、コンテンツにおいては言語の差が大きいと考えるため、インバウンド向けの施策が必要である。

●委員（G）

- ・IR やインバウンドについて、コロナ前後で入込が増えている。インバウンドが増えている理由について、調査して、観光資源を活用したコンテンツ造成し、さらなるインバウンド誘客を目指してはどうか。

●事務局

- ・インバウンド向けの施策等は実施していきたく、大阪観光局のデータ分析等も行っているが、実際直接的な効果があるかが見えないということがある。岸和田城天守閣のリニューアル

アルの際は、インバウンド向けのコンテンツ等検討したい。

●委員（A）

- ・岸和田ならではの点でインバウンド向けの施策等を行ってまいりたい。

〈3. 受入体制の整備・充実〉

●委員（I）

- ・交通手段について、海から山までの交通手段が少ないと考える。他府県の成功事例を参考に検討して実施すれば、周遊につながる。岸和田城周辺や商店街での満足度向上に向けた、お土産や食事処も検討してはどうか。

●事務局

- ・移動については課題であると感じる。庁内関係課にて、レンタサイクルを実施して、市内各所で設置しており、稼働率も高いと伺っている。商店街について、事業者の方とともに盛り上げていくような機運を醸成したいと考える。

●委員（I）

- ・修学旅行生の受入についての検討はしたことがあるか。

●委員（A）

- ・受入体制や体験プログラムの明確化が必要。その内容を詰めたうえでエージェントに投げる必要がある。学生と協力した事業展開等も検討している。

●委員長

- ・その他に意見はあるか

（意見なし）

（3）委員会スケジュールについて

●事務局

- ・資料⑥の説明。

●委員長

- ・意見はあるか。

(意見なし)

(4) その他

●委員長

- ・意見はあるか。

●事務局

- ・資料⑥の補足として、今年度実施の中間検証業務における委員会開催について説明。

(意見なし)

3. 閉会

●委員長

- ・本日の推進委員会を閉会する。